

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.38

発行：2017. 2. 17 リニア新幹線を考える相模原連絡会 <http://sagamihara-g.mond.jp/>

リニア工事 勝手にトンネル許せない！ ～トンネル真上周辺(深さが13～30m)の住民アンケート結果～

「リニアアンケート」(昨年11～12月「リニア相模原連絡会」実施)に寄せられた「アンケート回答者からの声」の一部と「リニアアンケート集計表」を紹介します。

◆ リニアへの疑問・反対・迷惑の気持ち

○安心してずっとここに住みたいから、できれば中止して欲しい。 ○誰が望み、誰の利権のためなのか？ ○少子高齢化なのに巨費を投じてなぜ作るのか？ ○地震大国日本で「安全」は信用できない。 ○問題が生じたら説明責任を果たして欲しい。 ○「走らせたらず赤字です」になるのではないですか？ ○政治家の勝手な言い分や都合のよい法律で町を変え、個人の権利はかき消されていく。 ○相原高校を移転したり、勝手に生活環境を変えて迷惑だ。○絶対にトンネルを通して欲しくありません！ ○そもそもリニアは必要なのか？

◆ 精神的不安・苦痛

○どのくらい下を通るのか？家や人体への影響は？わからないのでとても不安。 ○この先何年も苦しい思いをしそうだ。 ○多くの心配事はトンネル工事がなければ抱くことはない。 ○土地の価格が下がる。

◆ 説明会のあり方

○あったことさえ知らない(JR 東海や市の説明が) ○全く時間が合わなくて行けない ○住民への誠意ある説明を望む。 ○きちんと説明しないで一方的にトンネルの中心線を打つのはひどすぎる。

◆ 質問・要望など

○(家の下をトンネルが通ること)拒否できる？ 転居費用は？ ○工事前と後で、マンションや家の傾き・ひび割れを定期的に調査したり、修理する費用は全額負担して欲しい。 ○家や体への影響がでたら補償はどのようにいつまで、どの距離までしてくれるのか？ ○博多の地下鉄工事のような陥没や地震での地盤沈下が心配。 ○医療機器(具)を付けた人に電磁波の影響は？

◆ 相模原市へ

○相模原市は我々市民と JR 東海との間で一体何をし、市民に何をしてくれるのか？

着工・測量に必要な「住民理解」は
得られるでしょうか？

～アンケート結果の報告と意見交換～

リニアカフェ

無料

3月14日(火)13:30～16:00

3月23日(木)18:00～20:30

お誘い合わせてご参加ください。 ●場所は両日とも 橋本公民館 小会議室 です

主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会 <連絡先> 桜井 (☎ 042-773-7064) (橋本駅北口ロイオン6F)

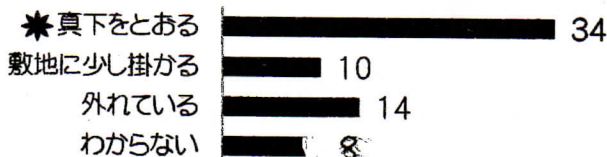
リニア アンケートの集計表

※回答：66通 (2017. 1. 27 現在)

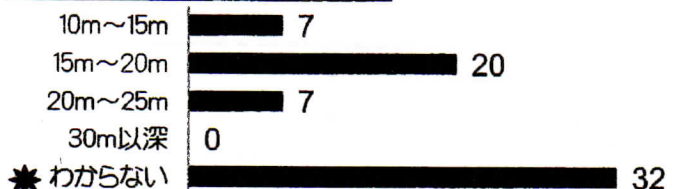
1. リニア路線とあなたのお住まいとの位置関係および影響についてお聞きします

グラフの右数字
は回答数を示す

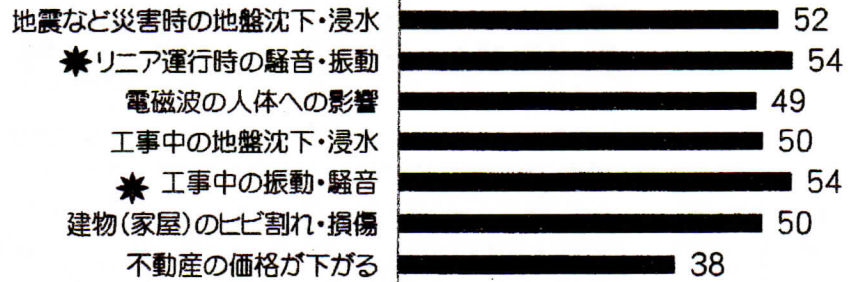
*トンネルはどのくらい離れていますか



*トンネルまでの深さは？

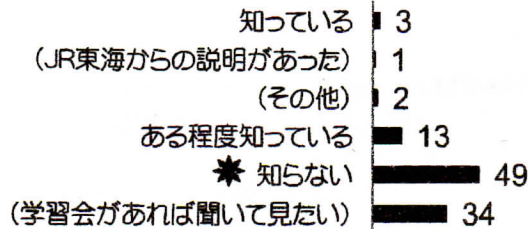


*トンネルの影響で心配なことは何ですか(複数可)

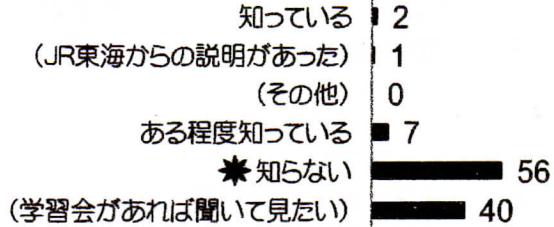


2. リニア工事に関連する権利で「区分地上権」についてお聞きします

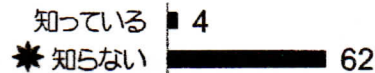
*「区分地上権」の権利についてご存知ですか



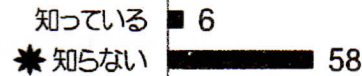
*相模原市内のトンネル工事は「区分地上権」が認められていることをご存知ですか



*補償については「トンネルまでの深さ5m~40mまでが対象」とJR東海が言っていることをご存知ですか

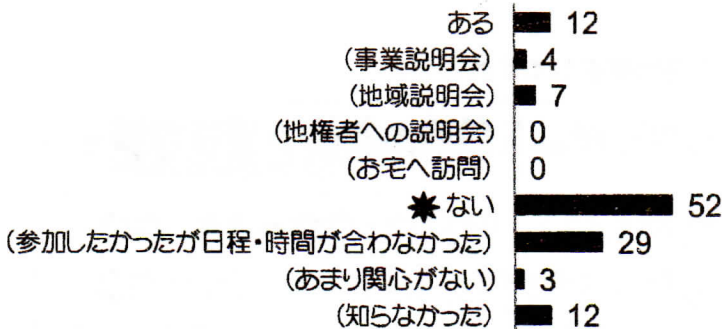


*土地所有者はJR東海(=「区分地上権者」との間で契約しますが、土地の使用に制限が加えられることから、財産価値の減少を招く可能性があることをご存知ですか

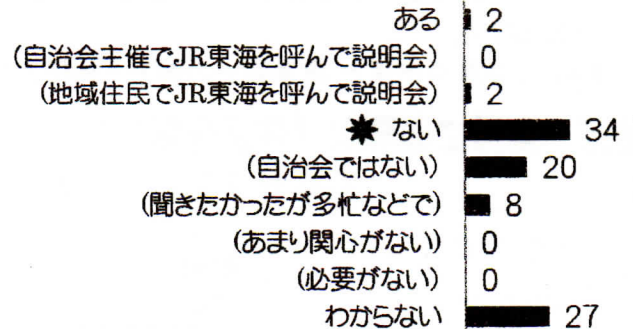


3. JR東海の対応(地権者、地域住民への説明)についてお聞きします

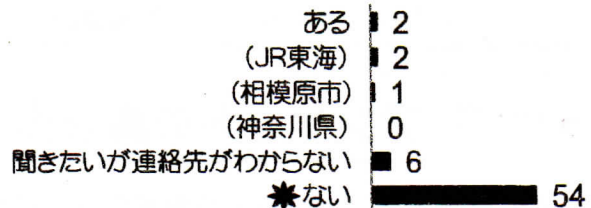
*これまでJR東海主催のリニア事業説明会、地域住民への説明会に参加したことがありますか



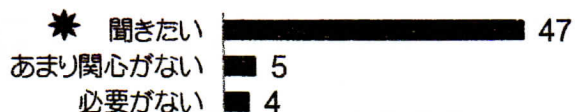
*自治会あるいは地域住民の間でリニア事業について話し合いが持たれましたか



*個人でJR東海<相模原工事事務所>(または市や県)に問い合わせたことがありますか



*JR東海(または市や県)を呼んで話を聞きたいと思いませんか



お願い

★活動はみなさまのカンパで維持しています、ぜひご協力をお願いします。

郵便振替口座:00240-7-71305 口座名:リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者:代表 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本2-6-2 TEL:090-4378-9257

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.37

発行：2017.2.7 リニア新幹線を考える相模原連絡会 <http://sagamihara-g.mond.jp/>

美しい鳥屋がなぜ？リニアの犠牲に！

～「ストップ・リニア!訴訟」相模原から鳥屋の住民が意見陳述～

リニア新幹線工事計画の認可処分の取り消しを求める「ストップ・リニア!訴訟」の第2回口頭弁論が2016.12.9東京地裁(吉田孝夫裁判長)で開かれた。

この日、相模原市鳥屋の栗原晟さんが意見陳述。「私が車両基地の建設予定地が鳥屋になっていることを最初に知ったのは新聞記事。JR東海の公開文書を読む中で、リニアの必要性に疑問を感じた。工専用車両が1日にピークで千台以上走行することの安全上の問題、住環境の破壊、土砂捨て場を作るための車両基地建設では…など、こんなものために町の間人が土地を奪われ、退去させられるのはたまらない」と訴えた。「JR東海の地域への説明も基地建設が前提で、建設自体の是非を地域住民と議論する機会がなかったこと、工事実施計画認可の処分前は情報を極力



伏せておいて、処分後に説明会を開催するやり方はフェアではない」と述べ、最後に、足尾鋳毒事件の田中正造の言葉「真の文明は山を荒らさず、川を荒らさず、村を破らず、人を殺さざるべし」を引用し、「リニアの是非を問うこの裁判を通じて、私達の文明が真の文明と言い得るのが問われている」と結んだ。栗原さんの陳述に先立ち、和泉貴士弁護士がスライドの写真も使い鳥屋の説明をした。今のかげがえのない自然、鳥屋が工事後どう変わるか、車両基地のイメージ鳥瞰図も写しだされ、裁判長や法廷の参加者に地域住民の受ける被害は極めて深刻なものであることを訴えた。

森のカフェ

鳥屋の山林トラスト

づくりに取り組んでいます



12月の作業の様子

「リニア新幹線を考える相模原連絡会」では、車両基地予定地の山林4,003㎡を借地して、地上権登記を設定しました。ここを拠点として、様々な活動を展開しながら、用地買収を防ぎ、リニア新幹線事業の阻止を目指していきます。最初に、リニア問題に関心を持つ人々が集える場として、「トラストの森カフェ」づくりに取り組んでいます。山ヒルが休眠中の春先まで、現地の竹や間伐材を使い、山仕事の体験をしながら作業します。ぜひのぞいてみてください。

「ストップ・リニア!訴訟」日程と傍聴参加のおねがい

～日本を壊すリニア工事の認可取り消しを求める「ストップ・リニア!訴訟」～

- 第3回 2017年2月24日(金)午後2時30分～東京地裁103号法廷
- 第4回 2017年4月28日(金)午後2時30分～東京地裁103号法廷
- 第5回 2017年6月23日(金)午後2時30分～東京地裁103号法廷

●東京地方裁判所の最寄駅は地下鉄丸ノ内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関」駅A1出口から徒歩1分。

リニアで消費者被害発生！ (新築一戸建て購入) 「リニアのトンネルが自分の家の地下を通る」と知らずに買った

昨年2月にリニアのトンネルが地下を通ると知らされずに建売り住宅を購入した相模原市中央区宮下本町の40代の男性が、売主と不動産仲介業者に対し、損害賠償などを求める提訴を検討していることが12月19日に判明。記者会見した代理人の関本正彦弁護士によると男性は「契約書や重要事項説明書に書いていない。知っていたら買わなかった」と。JR東海は環境影響評価書を2014年8月に公開しているため、弁護士は「専門的な業者なら当然、計画を知り得たはず」と話し、今後業者に内容証明を送り、計画を認識していたかを確認すると述べた。 **神奈川新聞(2016.12.20)から**

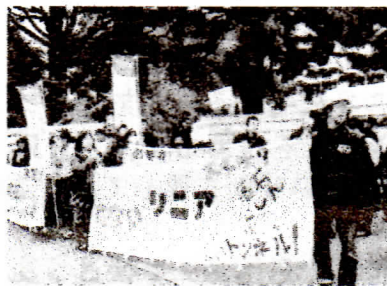
11.23 リニアで初めてのデモ

“リニアはいらない！”の
声をあげていきましょう！

★沿道では地域のみなさんが注目、
声援を送る人も。(子どもも含め
最終的に55人が参加)

リニア新駅設置反対
市民団体が初のデモ
移転決定の相原高周辺
リニア中央新幹線の新駅
設置が計画されている相模
原市緑区の橋本駅周辺で二
十三日、計画に反対する市
民グループ「リニア新幹線
を考える相模原連絡会」の
メンバーら約三十五人が初
の街頭デモを展開した。
新駅設置のために移転が
決まっている南口の県立相
原高校前を出発し、立ち退
きが必要とされる同区橋本
や東橋本地区などを約一時

間かけて練り歩いた。「電
磁波や騒音、振動が危な
い」「無駄な税金を使うよ
り駅のホームドア設置を」
などと声を上げた。
東橋本在住の浅賀きみ江
代表(66)は「畜産が有名な
相原高校は自然も豊かな地
域の宝。立ち退き予定地は
高齢者もいて、移転などし
てまでやる事業ではない」
と訴えた。
(井上靖史)



相原高校前で横断幕を掲げる参加者＝相模原市緑区で

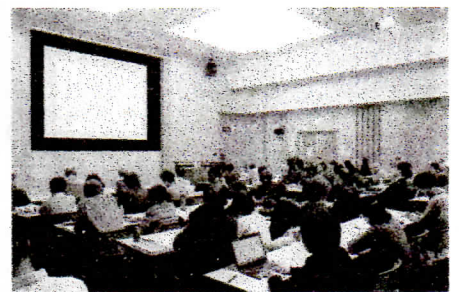
東京新聞(神奈川)
2016.12.24 記事

11.20 リニア学習会

リニアで得する人・損する人 リニアで市民生活は豊かにならない

「リニアで得する人・損する人」～数字でみるリニアと私たちの暮らし～と題して、上岡直見さん(環境経済研究所代表)を講師に学習会を開き70数名が参加しました。上岡さんからは、さまざまな角度から数字を基に分析、リニア建設の問題点と私たちの暮らしへの影響について分かり易く、お話がありました。

●10数年続くリニアの建設で激しく往来する工事車両の数は、名古屋、東京など大都市ほど増加し、新たに大気汚染の影響を受ける人が大変増えることになる。●リニア建設に莫大なお金をかけるより新幹線の値下げや、福祉社会保障・その他公共の福祉に投資した方が、市民生活が豊かになるなど、リニアで何の得することもないことがはっきりと納得できました。講演のほかにJR東海労組から小林光昭執行委員長および「ストップ・リニア!訴訟」弁護団から足立悠弁護士の報告がありました。(※講演資料は、相模原連絡会HPに掲載)



11月20日ソレイユさがみ(相模原市緑区橋本)

お願い

★活動はみなさまのカンパで維持しています、ぜひご協力をお願いします。
郵便振替口座:00240-7-71305 口座名:リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者:代表 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本2-6-2 TEL:090-4378-9257